



香春町協力隊だより



大阪府出身の28歳。前職では営業職を4年半やっており、福岡市内の営業所に2年間所属していました。

田舎暮らしや農のある暮らしに興味を持ち、香春町で半農半Xのライフスタイルを実現させたいと思い地域おこし協力隊として移住してきました。

着任してからこの1年、DIYリノベーション講座、香春町ぐらしトライアルウィーク、ハーブ王子の野草



ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

散策などのイベントの企画、準備、運営を行いました。また、東京都内や福岡市でのトークイベントなどに登壇し、香春町での取り組みや町の良さをPRしてきました。

5月にオープンする採銅所駅舎内「第二待合室」の運営、場所を活かしたイベントを今後は行っていき、協力隊の活動、香春町の魅力をより多くの人に届けられるよう、取り組んでいきます。



テジマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

うきは市出身の33歳です。来る前はメキシコ合衆国に3年間住んでおり、紐の営業とイベントの会社に勤めていました。

香春町移住生活1年目の昨年は待望の第一子が産まれました。

協力隊では、空き家バンク担当し、空き家バンクの更新や移住相談の対応などを行いました。

また、昨年度は全協力隊の中で唯一、福岡よかこビジネスプランの最終審査に通過。最終審査では、惜しくも入選は果たせませんでしたが、空き家活用のプランを発表しました。

2年目は「空き家バンク」×「企業」や「他自治体」などと連携してイベントを企画していきます。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

広島県出身の29歳です。着任前はアメリカの大学で新聞学を学び報道写真を専攻。地方紙で記者として経験を積んでいました。

縁もゆかりもない香春町に自分が来たのは協力隊の情報発信担当としての仕事に大きな魅力を感じたからでした。

着任1年目は、町のイベントや人々と関わりながら、町の魅力的な所を見つけることに重点

を置きながら香春町について情報発信を行いました。また、合併60周年を記念した動画なども作成。多くの人に見てもらえたことができたと思います。

2年目は1年目に行って来たことを続けつつ、自身の最重要任務の一つである、香春町での「くらしのイメージ」を移住希望者に向けて効果的に発信できるよう制作していきます。



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



協力隊が行った初めての大規模イベントがDIYリノベーション講座です。

このイベントは村井隊員宅の1階部分を改装し、香春町での暮らしを体験してもらう空間にするために行ったイベントでした。

建築士の指導の下、日曜大工(DIY)初心者15人ほどがプロの技を教わりながらキッチン作りや左官作業などを行い、改装していきました。

完成後に行った内覧会ではスタッフとDIY参加者が講座中の作業の様子などを説明しながら案内していました。



協力隊の1年目の主な活動内容



改装した村井邸を活用して行ったのが、「香春町ぐらしトライアルウィーク」です。11月から12月にかけて、都会から1週間程度、香春町での田舎ぐらしを体験してもらいました。

期間中は地元の方の協力の下、畑で農作業に励んだり、山頂から見える香春町の美しい景色を堪能したりと香春町での生活を満喫してもらいました。

また、この企画に参加された笹原さん一家が香春町への移住を決断。大成功に終わり、次に繋がる成果があったと思います。



協力隊の新拠点！

採銅所駅舎内 第二待合室

5月1日オープン予定！

大正4年に建造され100年以上採銅所地区を見守って来た香春町の文化財「採銅所駅」。

この春、香春町への移住相談の窓口と交流のスペースとして新たに出発します。

詳細は5月号にてお伝えします。

編集後記：協力隊が香春町で活動を始めて、はや1年が経ちました。新年度が始まる4月ということもあり、今月は町内の皆さんに協力隊の隊員と任務内容について改めて知ってもらおうと、自分たちのことやこの1年やってきたこと、そしてやろうとしていることを紹介しました。これからもよろしくお願いします！（濱田）

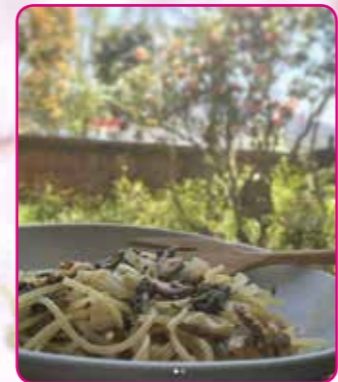
Spring Scented Town : 香春町 (春が香る町)

4月に入って、気温が暖かくなり、青空とコラボして陽気な日々が増えて春爛漫なここ最近。春が香る町の名にふさわしい場所を求めて色々な場所で春を探しに廻ってみました。

まずは「協力隊の特権！」と言わんばかりにランチが食べれる場所を探検。呉ダム湖畔だったり、鏡山地区で香春岳が一望できる場所の田畑の土手だったりで昼休憩を満喫！

また、春の特産であるタケノコを道の駅の駅長から教わった「やま山椒の木の芽酢味噌」をかけて食べるとこれがすこぶる美味しい！

1年目の昨年とは違って、ゆったりと周りを見ながら色々な顔を見せてくれる香春町の春を感性を澄ませながら体験しています。



くらしのイメージ かわらスタイル

暮らしのイメージと聞くと人々の生業のイメージを考えるとと思います。

でも、春が香る町と書く香春町。この町にとって、名前から簡単に連想できる写真ってやっぱりこういう「春！」が映える写真でもあると思います。

こんなにも可愛らしい町のイメージを作れるのは香春町の強みだと思います。

編集後記: 香春町で過ごす初めての春。桜の時期は天候に恵まれず、少しガッカリな1週間になってしまいました。。それでも感じる事ができる心地よい風、緑が深くなりつつある山々、色華やかな顔を見せる花々たち。こんな環境の中に自分を置いて、仕事ができることを神に感謝しつつ、香春町の春を満喫しています！（濱田）

採銅所駅舎内
第二待合室
開館特別号

香春町協力隊だより



▲タケノコ掘りイベントで根を切る作業を楽しむ参加者と園芸部会の人。

香春町の資源を楽しみながら体験してもらえるよう、タケノコ掘りのイベントを企画、開催しました。

イベントでは、JA 採銅所の園芸部会の人々が1人ずつ5グループ



ムライ ユウキ
村井勇輝 採銅所4区

に別れた参加者に付き添いタケノコの探し方や掘り方を指導。指導のおかげで参加者の中には44cmもの大物を掘り上げた人も。

掘り終わるとあく抜きを学んだり、旬の野菜を使った昼食で腹ごしらえをしたりとタケノコの調理の仕方や香春町の春を満喫。

少人数で開催したことによりタケノコ掘りの体験だけでなく実際の交流ができており、町外からの参加者が口々にもつ地元の人と交流したかったと言っていました。

空き家バンクにある物件を有効活用できる補助金の制度が今年度から整備されました。4月は2件の申請があり、手続きの手伝いなどを行いました。制度についての詳しい情報は町役場または協力隊をお願いします。

また、6月に漆喰を使用したDIY イベントを企画。香春町にある居住予定の空き家を使い、住み手の思いを形にできるような家

に仕上げていく予定です。イベントについては協力隊のフェイスブックページをご確認ください。



▲6月のイベントに向けて漆喰塗りの体験をする協力隊と笹原さん(右)。



テシマ ジュンヤ
手島順也 下高野1区

町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛 本町区

春が香る町ということで、先月は春を意識した情報発信を行いました。詳しい内容は本誌4ページに記載していますが、香春町のイメージとして「春」を全面に出した写真の撮影だったり、協力隊が見つけた身近に春を感じられる場所などをソーシャルメディアなどのインターネットで発信しました。

また、先月に引き続きふるさと納税の商品撮影も行いました。協力してもらった生産者の人の



▲採銅所駅で満開の桜をバックに「暮らしのイメージ」撮影中の一場面。作っている物への情熱や香春町に対する思いなどを聞くことができ、その思いをイメージとして描ききれるよう制作しています。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408





採銅所駅舎内 第二待合室の全貌

100年の歴史を誇る採銅所駅。採銅所地区と香春町の栄枯盛衰を見てきたこの駅にこの春、新たな路線が敷かれます。

新たな暮らし方の乗り換え口として、装いを一新。香春町への移住相談の窓口と地元の人々との交流のスペースや協力隊の拠点としての機能を備え、名前も「福岡県香春町採銅所駅舎内第二待合室」として、新たに発進します！

第二待合室は5月1日に開館し皆さんの来館をお待ちしています。また、オープニングイベントを5月30日(火)に開催予定です。詳しくは町役場、または協力隊まで。

第二待合室 DATA

開館日：月・火・金・土・日曜日

開館時間：9時～17時

場所：香春町大字採銅所 2595-4

JR 日田彦山線 採銅所駅舎内

お問い合わせ先：(0947)32-3115

お気軽にご来館ください。

📷7



▲香春町の自然と日常を見ながら仕事ができるスペースがここにあります。

📷6



▲田舎暮らしに関する本を多数用意。ただ、貸出は出来ないのでご注意ください。

📷5

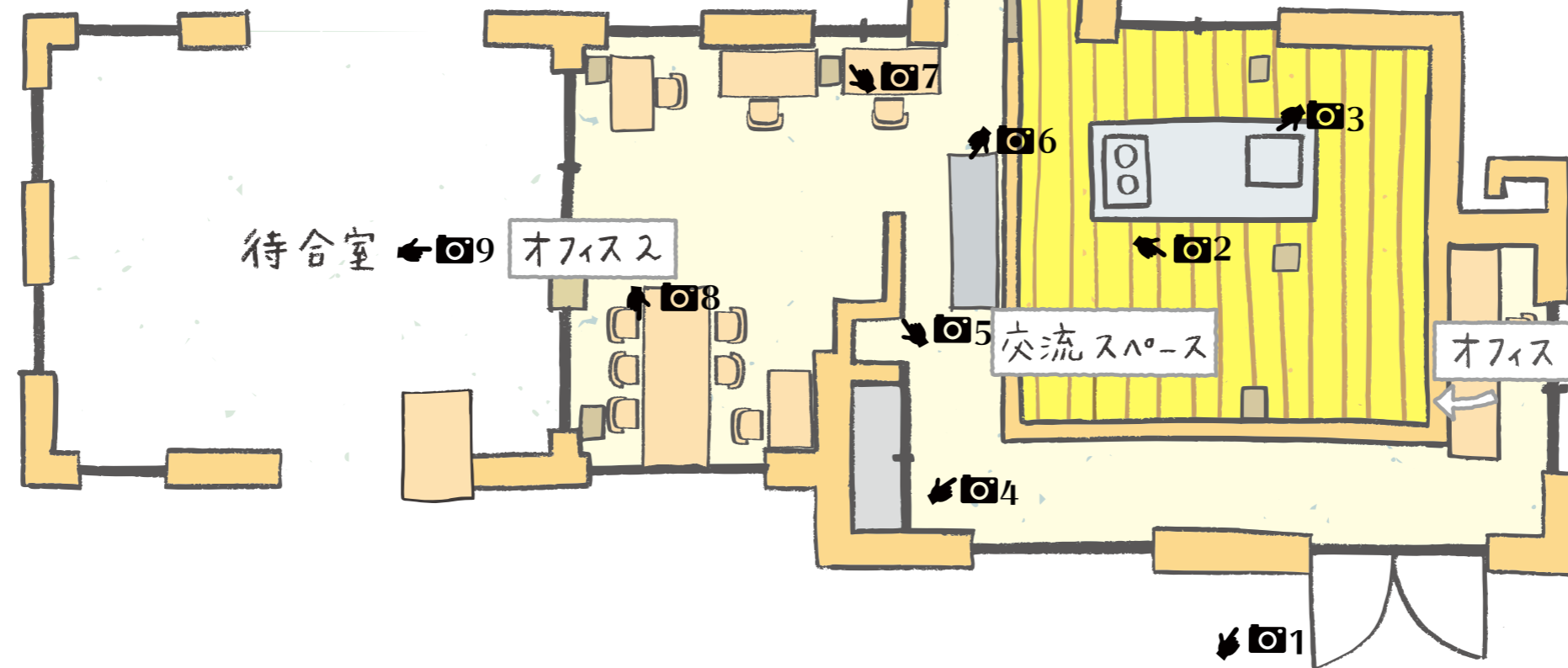


▲第二待合室のロゴ。ガラスに映えるロゴが新たな旅立ちを予感させます。

📷3



▲オシャレなキッチンも設置。イベントなどに使用することができます。

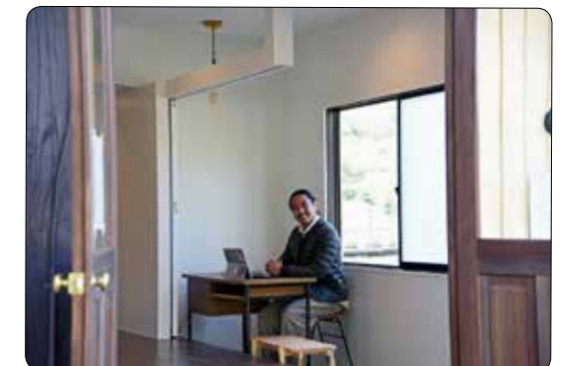


📷2



▲収納式でマルチタスクに使えるホワイトボードは会議などに使用できます。

📷1



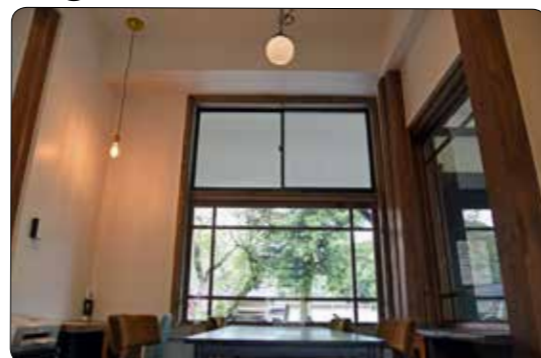
▲第二待合室を訪れると協力隊の顔、村井隊員が爽やかな笑顔で出迎えてくれます。

📷9



▲板で覆われていた第二待合室も全面に窓を設置し、開放的で入り易い空間を作りました。

📷8



▲落ち着いた色合いを出すこのスペースは移住相談や会議に使用されます。

📷4



▲交流スペースはそのまま腰掛けての会話や少人数のイベントに持ってこい！



スマートフォンのQRコードリーダーを使い右のバーコードにかざすと駅舎内の360°の景色を見ることができます。ぜひ、お試しください。



香春町協力隊だより



先月上旬に、野草研究家で「ハーブ王子」こと山下智道さんとのイベント第三弾「野草酵素作り」を開催しました。町内外から12人が参加し、矢山地区を散策。村井邸にて採取した大量の野草を刻み、砂糖と一緒に瓶詰めする工程を体験。楽しく野草酵素が作れました。

また、町内出身の若者が主催する一日限りのマルシェ「香り市」を村井邸で開催。約4時間の間に100人近くの方が来場しました。お店が



移住支援の場へのご担当
ムライ ユウキ
村井勇輝 採銅所4区 隊員

提供していた食品はすべて完売。来場した皆さんは各々に楽しい時間を過ごしていました。今後、採銅所駅舎内第二待合室でも様々なイベントをやっていきます！



▲採取した野草を砂糖と混ぜて酵素を作る参加者。

採銅所駅舎内第二待合室の運営を開始して最初の月が終わりました。この施設ができたことによる多くの出会いに元気ももらいながら頑張っています。

駅舎運営の他に、「漆喰DIY講座」を企画、6月10日(土)に開催します。香春町の空き家や移住者と一般企業などを繋ぐ移住イベントで、地元の漆喰メー

カーと共催で開催します。

目的は他市町村の空き家バンクと差別化を図ること。そして、空き家バンクの運営も含めた空き家活用の促進です。

最後に、第二待合室完成に尽力くださった皆さん、ありがとうございました。ここが香春町への移住の「待合室」になれるよう活動していきます。



空き家活用担当
テシマ ジュンヤ
手島順也 下高野1区 隊員



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。

問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



移住支援の場へのご担当
ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛 本町区 隊員

採銅所駅舎内第二待合室での活動を開始して早一ヶ月。香春町の情報発信などの任務に駅舎の運営の任務が加わりました。戸惑う場面もありますが、多くの人々が訪ねてきており忙しくも楽しく運営ができています。

また、先月は神幸祭や田植えの様子などを撮影。香春町だからこその祭りや、田舎だからこそのできる田植え作業など、多くの香春町の「くらしのイメージ」を切り撮れました。「くらしのイ

メージ」づくりは写真と並行して動画も地元の人々の協力ももらいながら撮影中で、今月も香春町にある多くの魅力を発信していきます。



▲呉ダムにて「くらしのイメージ」動画の撮影中の一場面の様子。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara> いいね!

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

採銅所駅舎内第二待合室 お披露目会 & 香春町での移住と交流を考える会



▲採銅所駅舎内第二待合室のオープニング式典にて施設の内装やデザインの趣旨を説明する宮城雅子さん(左)

採銅所駅では記念式典が行われ、施設的设计を担当した宮城雅子さんが駅舎が完成した大正時代の雰囲気に合わせてデザインの設定など内装の意匠について説明。出席者の皆さんは興味深く聞かれていました。

引き続きJA採銅所ふれあい広場に会場を移して行われたトークイベントでは、地域のプロジェクトマネージャーとして活躍中の西塔大海さんによる香春町の移住促進に関する基調演説や協力隊の活動報告など第二待合室を活用した議論が進みました。詳しいイベントの様子は協力隊のフェイスブックページでご覧いただけます。

色とりどりの花がホームを囲み、訪れる者を惹きつける。駅舎の周りは手入れが行き届いていて、地元の人々の愛情が溢れている採銅所駅。

先月1日に「採銅所駅舎第二待合室」としてリニューアルオープンをした採銅所駅のオープン記念イベントが5月30日(火)に採銅所駅とJA採銅所ふれあい広場で行われました。



▲採銅所駅舎内第二待合室オープン記念トークイベントでのトークセッションの一場面。写真は協力隊3人が各々の昨年度の実績報告や活動内容を説明している場面。

くらしのイメージ

かわらスタイル

5月も半ばに入ると近くの田んぼでは田植えの作業が始まる。今の時代、機械を使った植え方が普通なのかもしれない。

家族や友達、近所の人と裸足で田んぼに突っ込んで、泥だらけになって田植えを楽しむ。ほんのひと昔前までは普通だった光景。効率性を求め過ぎて余裕が無くなるよりは、少なくともイイから楽しんで植えた方がお米ももっとオイシイんじゃないだろうか。

編集後記：採銅所駅舎内第二待合室に引っ越して早くも一ヶ月が経ちました。一時間に一本の車を除くと静かで穏やかな風景の広がる駅舎周辺。駅舎を綺麗な花々で素敵に手入れをしてくださっている山野さんをはじめ地区の皆さんがどれだけこの駅や町を愛しているかが分かる情景が毎日広がっています。(濱田)



香春町協力隊だより



6月も第二待合室での交流や見学で多くの人に訪れてもらえることができました。イベントの講師をしてくれそうな人や町内で様々な活動をされている人々と知り合うことができました。

その人々と協力してこの場所にもっと多くの人々が訪れ、交流の場として機能するようイロイロな仕掛けを考えています。

今後も、この場所を使っておこなうイベントや、町内の皆さんが



ムライ ユウキ 村井勇輝隊員 採銅所4区

寄りたくなる場に行けるようアイデアを練っています。まだ来たことない人も、是非一度おしゃべりだけでもしに来てください！



▲小枝ストーブDIYイベントの準備を行う村井隊員(右)と講師の土居さん。




テシマ ジュンヤ 手島順也隊員 下高野1区

第二待合室で活動を開始してから徐々に空き家・移住相談が増えてきています。相続について、活用方法について、家財整理についてなどが多いです。

香春町が今年度から整備したりフォーム等補助金制度を利用して、空き家問題の解決に向けて積極的に活動しています。しかし、空き家問題は関係者の事情だった

り思いだったりが錯綜して進まないケースもあり、全てがすぐ解決するのは難しいケースが多いというのが現状です。

それでも相談から「空き地・空き家バンク」掲載に至った場合や、相談したことで問題が顕在化し家族会議を開いた、など空き家問題解決の最初の一步に寄与することが出来ていると思います。

 町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

先月は勾金中学校で、「夢授業」と言う自分たちの職業やその内容を紹介する授業に参加。中学生と対話形式で仕事に対する心持ちなどを伝えました。

また、採銅所小学校6年生が行っている町紹介パンフレットの作成に講師として参加。自身が作成したクリップなどを使用し、取材や撮影の仕方などを指導しました。

自分自身にとっても、情報発信の仕方や考え方を考え直させ

られたり、違った視点でのやり方などを感じ取れたり、これからの情報発信を行なっていく上で、助けになる方法を探し出すことができたと思います。



▲採銅所小学校で取材や撮影の方法などを指導する濱田隊員(中)



ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408 採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

漆喰 DIY 講座レポート

先月10日に町内外から10人の参加者を集めて行われた漆喰 DIY 講座。田川市の漆喰メーカーと協力して採銅所地区にある空き家を使い、DIY 専用にした漆喰を黄土色の壁に塗っていきました。

午前中は第二待合室で座学。講義では漆喰の基礎知識を実験やマニアックな化学式を活用した内容になり、参加者の皆さんも興味深く熱心に聞き入っていました。

空き家に移動後、昼食を挟んで実際に漆喰を塗っていく作業です。各参加者に塗るスペースを設定。

最初は皆さんゆっくりとしたペースでしたが、漆喰メーカーの方が塗り方のコツなどを伝授し、慣れてくると、一心不乱にコテを振るっていました。

一般的に DIY では難しい漆喰を扱えたことで参加者の皆さんも充実度の高い講座になったようです。



くらしのイメージ かわらスタイル

空き家によっては補修が必要な場合もあり、少し手間がかかります。

しかし、周りの人々と協力して何年も主人がいなかった家を自分色に変えることができる可能性があります。古いものを新しく、家族や友達、隣人と助け合う暮らし。見つめる先にある暮らしはこんな感じでもあると思います。



編集後記: 梅雨入りしてからほぼ雨が降らず、土はコンクリート並みに固まり、協力隊で栽培している野菜たちも干からびかけ、雨季の大切さが身に染みた時期になりました。幸い、母なる自然も空気を読んだ？かはわかりませんが、まとまった雨をもたらしてくれて、順調に育ってってくれています。ただ、今度は虫たちが。。。(濱田)



香春町協力隊だより



～藍染めイベント 8月開催
準備は着々と進行中～



▲講師の村上夕子さん(右)とイベントの内容を相談する村井隊員。イベントは8月20日(日)に開催。



ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

～協力隊の活動を発表
近畿大学と国連機関にて～

近畿大学では特別講師として協力隊の活動や香春町の取り組みなどについて50人弱の学生に向けて講義しました。国連ハビタットのシンポジウムでは地域活性化を行っている10人の一人として登壇しましたが、香春町を紹介することができました。



テシマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

～空き家の家財処分
大家さんの目に涙～

梅雨が明け、温風至る先月下旬、新たな主人が見つかった空き家で「空き家リフォーム等補助金」を活用し、家財整理の業者さんと一緒に行いました。

一般的に、家財の整理は大変で苦勞が絶えません。しかし、

家財と一緒に家族の気持ちの整理もつけることができ、大家さんの言葉に全ての気持ちがこもっていました。「本当に本当に、お疲れ様です！なんだか、涙が出てきそうです。早く父にも見せてあげたいです」。

空き家活用の一歩目は、家財と気持ちの整理なのかもしれません。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～町の紹介と移住動画
制作は佳境へ～

香春町の紹介と移住の促進を目指す動画を5月下旬から制作中です。制作は佳境に入り、残りはいくつかの場面の撮影と編集作業のみとなっています。

物語は、都会の生活に疲れた若い女性が田舎暮らしを夢見ながら、最後に移住を決断する内容。香春町や田舎ならではの暮らし方の魅力を盛り

込み、町の皆さんや町役場の皆さんの協力をもらいながら制作しています。



▲都会から来た主人公が地元の人々や協力隊と農作業を楽しみ交流を行っているシーン。



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

くらしのイメージ

かわらスタイル 夏

残暑が厳しい今月は春から濱田隊員が撮影した「くらしのイメージ」を特集。

何気のない「普段着」の風景や、香春町だからこそ出来るくらしのイメージを切り取りました。

これらのイメージを作ることで香春町でのくらしをアピール出来ると思います。



▲自分たちの好きなこと、得意なことを生業にして暮らす。田舎の緑の中だから出来るくらし方の一つだと思います。



◀夏の到来を伝えんばかりに作り始める梅干し。何気のない普通の風景だと思われるかもしれませんが、これだけ多くの梅を干して漬けることができるのは、田舎だからこそのものだと思います。



▲なんだか忘れかけていた様な風景。都会の人々が田舎ぐらしに憧れる理由の一つが自然と調和の取れた何気のないくらしではないかと思います。



◀大暑の時期、屋外でのアクティビティは避けたいかもしれません。しかし、青空のもと、緑に囲まれたくらしがすぐそこにあるのは贅沢の一つなのかもしれません。

編集後記: 梅雨が明け、照りつける太陽が地面に陽炎を作り出しています。蝉の大合唱があらこちらから聞こえたり、猛暑日が連日続いたり暑さだけが際立っているなど感じています。しかし、暦のうえでは既に秋。過ごし易い季節に早くならないかと扇風機に顔を当てながら思っている今日この頃です。(濱田)

香春町協力隊だより



～採銅所の盆踊りと

藍染めイベント～

今年も私が住んでいる採銅所4区で行われている、初盆の盆踊りに参加しました。去年に引き続き、今年も太鼓を打たせてもらいました。太鼓の打ち方は習得できたと思うので、来年は口説きを覚えたいと思います。

8月20日(日)に、「化学建て天然インド藍絞り染め」のワーク



ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

ショップイベントを行いました。

町内外から、22人が参加。縦横60センチの大判ハンカチを自分の好きな柄になるように絞り、藍染め体験を行いました。絞ってる間、どんな柄になるのか想像できませんでした。しかし、藍に染まり、絞りを解いたハンカチを広げ、現れた柄はとてもキレイで、皆さんとても感動されていました。



テシマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

～「暮らし」のトーク

イベント準備着々～

協力隊主催で行う『採銅所駅舎内第二待合室オープン記念「暮らし」のトークイベント』の準備に動いた1ヶ月でした。

協力隊3人でイベントの中身を詰め、町内の飲食店に提供する軽食をお願いしたり、講演者

との打ち合わせのために福岡市まで出たりしました。

3人の講演者がそれぞれの理想とする「暮らし」を語るとても良い機会です！楽しみにして来てくださいね。

来月は、漆喰塗り講座を予定したり、宅建試験があったりと相変わらず忙しくなりそうです。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～香春町のPR動画

遂に完成！～

町の皆さんの協力をもらって制作してきた香春町のPR動画が遂に完成しました！

今月10日(日)に開催するトークイベントの午前中に行う内覧会でお披露目をする予定です。まだ、採銅所駅を訪問していない人はいい機会です。駅舎の訪問と合わせて動画を楽しみに来てくださいね。

～特技を活かす

英会話カフェ～



▲英語が話せる、話せないに関わらず、町内外から13人ほどが参加。英会話カフェと「町おこし」を融合できるイベントも思考中です。



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区



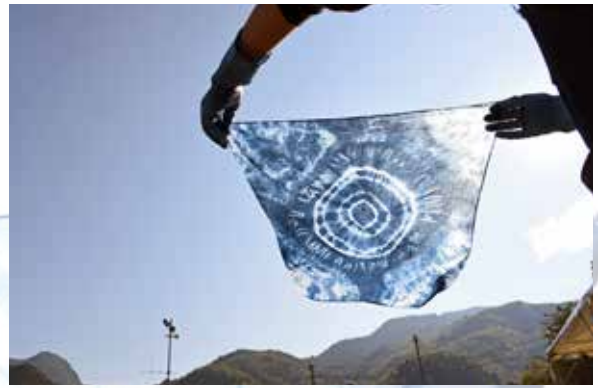
フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

「化学建て天然インド藍絞り染め」

～藍染めハンカチと
新たな仕事づくり～

夏晴れの空の下、青色に染まった60x60cmのハンカチーフが緑色の田舎の風景と鮮やかにマッチしていました。



8月の下旬に行った藍染めのイベント。午前と午後の部に分かれて、総勢20人も参加者が思い思いのオリジナルハンカチを作成しました。

講師の村上夕子さんは多くの絞りアイテムと見本サンプルを用意。参加者の皆さんはその多さに驚きと柄を決めるのに迷いもあったみたいでした。

今回は村上さんの仕事作りのお手伝いも。彼女にとっては初めてのワークショップも、巧みな話術で参加者の皆さんに分かりやすく、楽しく藍染めができる雰囲気を作っていました。

さて、絞りの作業が終わると、協力隊の畑にて染め作業。暑い野外会場の中、インド藍の液に浸して、揉んでは洗っての繰り返し。



皆さん黙々と作業を進めていましたが、どんな柄になっているか見当がつかないらしいです。それでも、絞りを外して広げた時は皆さん「おー！！」という歓声をあげ、完成したオリジナルハンカチの出来栄えに感動していました。



10月号 香春町協力隊だより



～香春町 × 「野草王子」 草木染めの手ぬぐい～

野草研究家で「ハーブ(野草)王子」の山下智道^{ともみち}さんを招き、草木染めのイベントを9月18日に行いました。野草を煮出して作った染料に手ぬぐいを漬け込み、自然な淡い色に仕上がりました。染まるのを待つ間には、毎回恒例となった野草散策を行いました。今回も香春町を知らなかった人たちに、自然豊かな町の良さを知ってもらう機会となりました。



ムライ ユウキ
村井勇輝 採銅所4区



▲参加者が野草を煮出して作った染料に手ぬぐいを漬け込んでいる場面。手ぬぐいはビー玉とゴムで絞り、黄色と青色に色が出た2種類の染料から選び漬け込みました。

～「漆喰 DIY 講座」第二弾 篠栗・城島町協力隊と連携～

前回、香春町で行ったこの講座を篠栗町の実際に飲食店となる現場に舞台を移し、篠栗町と城島町の協力隊と連携し開催しました。

企画・主催を私が行い、建築士を招き実施。実際の店舗を舞台にすることで、そこからの「香春町」の発信も期待できると思います。



▲講師の町谷一成^{まちたにかずなり}さんが漆喰とその塗り方を説明している場面。ほとんど素人の参加者で実際の店舗を漆喰で塗りました。



テシマ ジュンヤ
手島順也 下高野1区



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛 本町区

～インドネシア人学生と 英語で香春町をまち歩き～

近畿大学の教育プログラムの一環でインドネシア人学生を香春町に招き、リノベーションを行った建物の見学ツアーを行いました。外国人学生が相手ということもあり全て英語での紹介。自身の強みである英語力を使った企画を考案中でのツアー開催で、実際に香春町を英語で歩き回りながら紹介ができました。価値を高めることができました。



▲見学ツアーは、採銅所駅舎を起点に、DIY 講座を行いお試し移住の空間に生まれ変わった「村井邸」、移住者が漆喰を使い改修した「笹原邸」や築100年以上の古民家を改修した「レストランあか鬼」を紹介しました。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
http://www.facebook.com/iheartkawara

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



「くらし」のトークイベント 第1回 9月10日
ゲスト：伊佐 知美さん

「くらし」のトークイベントの第一回目は「灯台もと暮らし」の編集長である伊佐知美さんを招いて開催しました。移住は旅の延長線上にあると語った伊佐さん。そこに行つて、誰かがいてくれる場所、お茶が飲める場所があること。そして「お帰り」と言つてもらえることが移住に繋がるとも。伊佐さん(女性)が見た地方移住、移住したくなる場所を語り合いました。

TOMOMI ISA

移住×女性

”「もっと心地よく生きられる場所はどこだろう」とロジカル(論理的)に探す女性なんかいない”

旅する編集長
伊佐知美さんが語った
少し羨ましい暮らし

「くらし」のトークイベント 第2回 9月24日
ゲスト：林田 暢明さん



第二回目は、総務省地域力創造アドバイザーである林田暢明さんを招いて開催しました。縁の繋がりがコミュニティを形成すると話す林田さん。今からは「知縁」、知識や趣味をベースにコミュニティが形成して行くとも。彼が福岡市内で設立したカフェ「T.A.O」を「知縁」を核にコミュニティが形成される事例の一つとして紹介。良い地域の核(中心)の作り方などを語り合いました。

N. HAYASHIDA

核＝縁の繋がり

”「すごい人と知り合いなのではなく、知り合った人がすごい人になっていく”

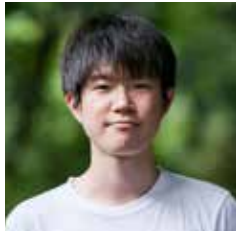
多くの地域を見た
林田暢明さんが語った
コミュニティの核



11月号 香春町協力隊だより



～今年も県外から若者が香春町での暮らしを体験しにやってきます！～



今回参加されるのは東北大学を休学し、HP作成、ブログ、映像編集などの仕事を

している堀基晴くん(21歳)です。

11月20日～12月20日までの1ヵ月、協力隊の村井宅に滞在し、町民の皆さんの取材や、ネットやHP作成の相談などを皆さんから受



村井勇輝隊員 採銅所4区

けたいとのことです。是非、採銅所駅舎内「第二待合室」や村井宅に彼とお話しをしに来てください。

～11月・12月も協力隊イベント

目白押し！企画の準備に邁進～

今月に行うイベント2件の企画の打ち合わせや準備を行いました。3日にコーヒー豆の焙煎、ドリップ講座を、6日に初心者でも描ける水彩画の講座を行います。また、来月は中津原の伝統料理家、末時さんとのイベントを企画中です。




手島順也隊員 下高野1区

～共通の趣味を通して繋がる縁
第二待合室で初の読書会を開催～
本を通じて知識で繋がるネットワーク＝「知縁の輪」が広がる「読書会」。今回は「幕末」をテーマに町内外から8人が参加し、幕末にまつわる本の感想などを語り合いました。参加者にも第二待合室や香春町を知ってもらい、満足度の高いイベントとなりました。

今後はテーマを「田舎での起業」、「農のある生活」など、「移住」にも関連付けて行こうと思います。



▲読んできた本や武将について各々の思いを話す「読書会」の参加者。

 町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～香春町での暮らしのイメージ
「人」にスポットを当てて発信～
先月は、新しい形の香春町の暮らしのイメージを発信するために取材して回りました。

これまで制作してきた暮らしのイメージとは少し異なる、ドキュメンタリー的な方法で、「香春町にはこんなに面白い人たちが暮らしている！」をテーマに香春町の人々の暮らし方や人物像を取材・発信していきます。

皆さんからもこんな面白い人が近所におるよ！など教えていただければ嬉しいです。



▲第1回目は後藤の饅頭の後藤裕樹さん取材。饅頭職人としての顔など後藤さんの人物像を取材しました。



濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

「くらし」のトークイベント

N. SHIOMI

塩見直紀さん、「半農半X」の生みの親

『先人知(リスペクト)×若い感性(インスパイア)…このバランスが大切』



塩見直紀さんと語った生き方、暮らし方

「くらし」のトークイベント第3回は「半農半X」の提唱者であり実践者である塩見直紀さんを招いて開催しました。

塩見さんが20代の時に環境問題時代をどう生き、何が自分の使命かを悩んでいた時に見つけたのがこの「半農半X」という言葉だったらしいです。

塩見さんが話された言葉で興味深かったのが、「X」は2本の線が交わってできている。

「本は自分、もう1本は社会、自然、他者を表している」と表現されているところでした。

また、塩見さんは一つのXでは無理でも、複数のXを組み合わせて暮らすこともできると話されるなど、農のある暮らしとX(=自分の天職)をどう組み合わせるか、正に「半農半X」の真髓を聞くことができ、暮らし方について考える時間になりました。

キーワード:「半農半X」

自給自足ができる程度の「農」のある暮らし(半農)を営みながら自身の才能を活かす(半X)生き方、暮らし方。塩見さんが提唱し20年が経つ。香春町の移住施策の軸。

空き缶がカッコいいアウトドア道具に変わる!

庭先に落ちているような枯葉や小枝を利用するだけで簡単に火がおこせる小枝ストーブ。9月30日に開催した小枝ストーブ作りイベントには、町外から30人近くの人々が参加しました。

秋晴れの空が広がる下で参

加者が限られた工具を貸し借りしあったり、作業方法を教えあったりと参加者同士のコミュニケーションが生まれるなど、参加者にとっては香春町の環境の良さを体験しただけでなく良い交流の場になったようです。



小枝ストーブ DIY

一つ先を行くアウトドア道具を自分の手で

『環境に優しく、簡単にお米が炊けるほどの火力が手に入る』



香春町の移住定住ホームページ「カワラ×カケル」。移住して来た人々の想い、町の皆さんの声などを掲載しています。詳しくは右端のQRコードもしくは下のURLからチェックしてください。
<http://kakeru.town.kawara.fukuoka.jp>

カワラ カケル
 香春町×
 KAWARAKAKERU



12月号 香春町協力隊だより



～コーヒーに水彩画に移住体験
イベント盛りだくさんな1ヶ月～

先月3日に開催した「コーヒー生豆 焙煎・ハンドドリップ講座」では、後藤寺でカフェのマスターをされている楠木禎二さんにコーヒーの楽しみ方を、6日に開催した「見て・描いて・書いて・感じて 究極の水彩画の世界」では簡単にできる水彩画の描き方を高



ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

知県から「魔法の筆」の伝達者である後藤真知世(通称・まちよ姐)さんを講師に招いて開催しました。

また、20日に「香春町トライアルステイ 2017」の参加者、堀基晴くんが、仙台から来られました。堀くんは今月20日までいます。声をかけていただいたり、採銅所駅や村井邸にぜひ会いに来たりしてあげてください!

～空き家の活用方法を探る
秋の不動産強化月間～


先月4日に、いいかね Palette であった「筑豊スタートアップイベント」では、香春町の空き家問題をデジタルな情報を使うことで解決する方法を話し合いました。普段とは違ったメンバーとデジタルという切

り口で「空き家バンク」を考え直せたことは、これからの空き家バンクが目指す先のヒントになりました。

また、第二待合室では随時「暮らしの相談」をお待ちしています。空き家、移住に関わらず、イベント、情報発信、仕事作りなど、協力隊と一緒に答えを見つけましょう。



テシマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

 町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区

～見つけた秋の色
香春町の暮らし～

先月は、稲刈りを終えた秋の香春町での暮らしを切り撮ることに重点を置いた1ヶ月でした。

昔からある柿の皮むき機や釜戸を使いながら、親子孫3代が干し柿作りを行っている採銅所の農家さんを取材させてもらったり、今月から張り出す暮らしのイメージ

ポスターの制作をおこなったりと香春町で見ることのできる秋の暮らしを発信していきました。



▲「この季節になると干し柿作りが体に染み付いている」と語る原田さん。

 フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中! 「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック!
 <http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

11/03 コーヒー生豆 焙煎・ハンドドリップ講座 講師 楠木禎二 「カフェ・グラントリノ」マスター



楠木さん(右)の説明を聞きながらコーヒー豆を網に入れ、一定の高さと速さを維持しながらの焙煎を体験する参加者の原田さん。

焙煎から淹れるところまでを全て手作業で楽しむ、ちょっと贅沢なコーヒー講座。

後藤寺のカフェのマスターである楠木さんから手取り足取りコーヒーの煎り方や淹れ方を教えてもらいました。

豆を焙煎する場面では、網を一定の高さと速さで均等に煎らないといけなく、その難しさに参加者の皆さんも顔が引きつり気味。それでも、マスターの予想をはるかに超える上手な出来栄。優秀過ぎて、悪い例の説明が全くできなかったと楠木さんは笑って語っていました。



Teiji Kusuki, the coffee meister

饒舌で気のいい、クッキリ入った笑いジワがチャームポイントなマスター。コーヒーソムリエであるコーヒーマイスターの称号を取得。田川市奈良でカフェ・グラントリノを経営。

11/06 見て・描いて・書いて・感じて『究極の水彩画の世界』講師 後藤真知世「墨のかほり工房アトリエ」主宰



後藤さん(中央)から「魔法の筆使い」の手ほどきを受けながら茄子やかき氷、独楽などを描いていく参加者の皆さん。

「次行くよー！」と第二待合室内に響き渡る講師・後藤さんの掛け声。その声と共に参加者が集まり、手ほどきを聞いては席に戻って描いて、聞いては席に戻って描いての繰り返し。

後藤さんが繰り出す魔法の様な筆使いと明るいキャラクターのおかげで、終始非常に賑やかに進みました。

1時間半ほどの講座で8作品も仕上げ

Machiyo Goto, a.k.a. Machiyone



絵を描く楽しさを伝え、ハガキ路人生40年。誰でも描ける『魔法の筆』伝達者。「ときめくと筆は走り、62円で自分の思いを全国に伝えてくれるスタッフ(ハガキ)、そこに季節の絵」をモットーとして活躍。



1月号 香春町協力隊だより



～町内と町外の人を繋ぐイベントや香春町での暮らしぶりを案内～

12月20日(水)まで、「香春町トライアルステイ2017」参加者の堀基晴くんと共同生活を行いました。畑仕事や竹林整備、地域の方々との交流、パソコン相談、協力隊イベントのお手伝いなど、町内での暮らしなどを案内しました。

12月9日(土)には採銅所駅舎で初めての料理イベント「末時



ムライ ユウキ 村井勇輝隊員 採銅所4区

先生の料理の手ほどき」を開催しました。また、堀くん企画「かわらー1GP」や、かわら農業塾とコラボした「キムチの素作り」イベントなど、精力的に実施しました。



▲伝承料理家の末時さんが話す料理の手ほどきを聴く参加者の皆さん。

～「空き家相談士」の資格を取得よりの確なアドバイスが可能に～
第二待合室には日々様々な相談が寄せられます。空き家の大家さんや、香春町への移住希望者などが私を訪ねてきます。

そんな皆さんの相談に高い見識を持って乗るために「空き家相談士」という資格を取得しました。

空き家相談士とは、空き家にまつわる専門知識を身につけ、相談依頼者に的確な助言を与えるなど、地域社会に貢献していく重要な役割を担う資格者です。

大家さんと移住者をうまくマッチングさせたり、空き家の新たな活用法を提案したり、香春町が盛り上がるようがんばっていきます。



テシマ ジュンヤ 手島順也隊員 下高野1区



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 本町区

～お正月を迎える採銅所と香春町の魅力を興味深く発信～
先月は協力隊イベントの撮影や地域の取材、完成した「くらしのイメージ」ポスターやフライヤーを町内外の施設に配布して回りました。また、トライアルステイに参加された堀基晴くんと町内の唐揚げ専門店の食べ比べを行い、その内容をブログ記事にまとめるなど、香春町の魅力を面白く、読者の興味をそそるような情報発信を

心がけて行いました。



▲毎年恒例となった地元の人たちによる採銅所駅での門松の設置作業。作業が終わった後、「昨年と違って今年は第二待合室で温まって一休みをして帰ることができるのがイイね」と話されていたのがとても印象的でした。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
f <http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408 採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



堀くんが見た・聞いた・感じた香春町

2017.12.20

香春町に来てからは、これまでほとんど経験したことのなかったことに挑戦することができました。中でも最も印象に残っているのが竹林整備です。五徳地区にある竹林の整備を手伝いました。竹を切るのはもちろん、竹林に入ること自体初めての経験でした。竹林整備が印象に残っているのはそれがただ初めての経験だったからというわけではなく、「竹害」の現状というものを目の当たりにしたことが大きいです。実際に自分の目で見ると、現地で感じることの大切さも実感しました。



香春町では多くの人との出会いがあり、一緒にご飯を食べる機会やパソコンの使い方の相談などを通じて皆さんとたくさんふれあうことができ香春町で良かったと思いました。正直、2ヶ月前までは香春町という存在を知らなかったですし、自分が田舎で移住体験に参加するとは思っていませんでした。ですが、間もなく移住体験が終了しようとしている今、参加してよかったと心から思うことができます。田舎暮らしや里山の現状を自分の目で見ることができたとても価値のある時間でした。

一覧に戻る >

カテゴリー

カワラのイベント
カワラのタカラ
カワラの楽しみ

新しい記事



カワラのタカラ, カワラの楽しみ

香春町だって立派な唐揚げの町!



カワラのタカラ, カワラの楽しみ

田のある暮らし



カワラのイベント

募集必切!《香春町
ライアルステイ2017

》参加者大募集中!!



カワラのイベント

\\「くらし」のトーク
イベント//



カワラのイベント

漆喰(しっくい)DIY講
座イベントレポート



カワラのイベント, カワラのタカラ, カワラの楽しみ

古宮八幡神社の神幸祭

11月20日から1ヶ月間、香春町での暮らしを体験したほりもとはる堀基晴(21歳・仙台市在住)さん。

堀さんが見たり、聞いたり、感じたりした香春町の様子を彼の言葉で語ってもらいました。

彼のもっと詳しい感想は香春町の移住情報サイト・カワラカケルで公開中です。『カワラカケル堀基晴』で検索してみてください!

カワラ カケル
香春町 X

KAWARAKAKERU

・ ようこそ 里山のまち香春へ
・ 住んでみて感じた魅力 トライアル香春
・ 住んでから自慢できる
・ 空き家暮らし指南
・ 探訪所駅舎内 第二待合室
・ お問い合わせ



2月号 香春町協力隊だより



～県外のまちおこし活動を視察

東京では香春町をPR～年始休みを長くいただき、帰省の時間を利用し、地元の大阪府柏原市や千早赤阪村、奈良県宇陀市のまちおこし活動をされている方々に会い、さまざまな事例を視察してきました。

奈良県宇陀市の地域おこし協力隊には、2016年の「香春町ぐらしトリアルウィーク」に参加し、



移住文化交流の場へのご担当
ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

香春町での田舎暮らし体験をされた橋本可奈子さんが着任しており、1日案内してもらいました。

また、1月26日(金)に、東京のふるさと回帰支援センターにて、移住フェアにブースを出展してきました。県内外での広報活動に、これからも尽力していきます！

ちなみに、消防団に入団し、出初式にもでました。消防団員としても頑張ります！



空き家活用担当
テシマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

～多くの空き家相談を受付


全国の空き家情報も発信～昨年取得した空き家相談士の資格を活用し、1月もたくさんの相談がありました。

新社会人としての暮らしを香春町で始めたい大学生や関東からの移住者、空き家を活用して暮らすためにリフォーム補助

金の申請で訪ねてこられる人など、数多くの相談が解決に向かうべく日々勉強を重ね精進していきます！

自身のツイッターで全国の空き家情報をまとめて発信も行っています。こちらチェックお願いします↓↓↓

<https://twitter.com/teshishima>

 町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～町の風景・暮らしを取材

移住者向け発信方法を探る～先月は消防団の出初式など都会では中々見ることのできない、田舎だからこそと思える風景や人々の暮らしなどを取材して回りました。

また、香春町の移住情報サイト「カワラカケル」のホームページの更新のための作業や、新たに制作する移住パンフレットに掲載する人々の取

材の調整、写真などの素材の提供など、香春町への移住に向けての情報発信に関わる打ち合わせや作業を行いました。



▲香春町消防団の出初式で整然と並ぶ消防団員の皆さん。



移住希望者への情報発信担当
ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

かわら農業塾×キムチの素作り

「赤いクリスマスカラーのキムチでクリスマスパーティーを！」を合言葉に作った「キムチの素」。今年度から始めた「かわら農業塾」とコラボして、12月23日に行ったこのイベントでは、町内外から9人が参加しました。

キムチの素になるリンゴや大根などを細かく切って、唐辛子を混ぜると赤く鮮やかに彩るキムチの素が完成しました。

参加者には、農業塾で塾生が手塩にかけて育てた白菜丸々1個をプレゼント。参加された皆さんは、おの

おのにキムチを作られたみたいです。

さて、8月末から始まった「かわら農業塾」。週一回、町内の農家さんから農家になるための農業を学び、塾生8人と白菜・キャベツ・ブロッコリーを育ててきました。塾生は、町内や北九州市、川崎町から参加しています。現在は順調に育ったキャベツ、ブロッコリーを収穫中です。

農業塾は来年度以降も行う予定です。ご興味のある方は、香春町役場産業振興課に問い合わせください。



毎週水曜日の午前中、土づくりや肥料についての座学や実際に畑での作業を行いました。約500個もの立派な白菜を、素人が教えられるままに作りました。



今回のイベントは、採れたての白菜を使って次回の参加者を募るため、かわら農業塾と共同で開催しました。



農業塾についての問い合わせ：
香春町役場産業振興課 ☎ 32-8046 担当：矢野



今回のイベントに参加された大分県在住の人が、農業塾に是非参加したいと言う声ももらいました。

香春町の移住定住ホームページ「カワラ×カケル」。
移住して来た人々の想い、町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは右端のQRコードもしくは下のURLからチェックしてください。
<http://kakeru.town.kawara.fukuoka.jp>



3月号 香春町協力隊だより



～全国の協力隊と情報交換

& トライアルステイ準備着々～
東京の虎ノ門ヒルズで2月4日(日)に行われた「第4回地域おこし協力隊全国サミット」に参加してきました。全国の協力隊員約1000名以上が集まり、物品の販売やワークショップ、交流会などを行い、全国のさまざまな取り組みをみて、情報交換をしてきました。

2月13日(火)には、県庁の自治体職員向けの移住政策勉強会にゲ



ムライ ユウキ 村井勇輝隊員 採銅所4区

ストスピーカーとして登壇し、各自治体の担当者約40人の前で香春町の取り組みを発表してきました。

3月から「香春町トライアルステイ」で滞在する2組目の参加者：秦忍^{はたしのぶ}さんの受け入れ準備も進めています。



▲トライアルステイ参加予定の秦^{はたしのぶ}さん。




テシマ ジュンヤ 下高野1区 手島順也隊員

～里山復活への第一歩

竹林整備の1年～
空き家バンクの運営の他に、業務時間外に竹林整備の活動を行っています。昨年の夏からこつこつと枯れ竹を撤去したり、チェーンソーを使い竹を伐採したりして整備に取り組んでおり、少しずつ元の山の姿が戻ってきています。

また、「ミニ門松作り」や「竹のうつわ作り」など3回、「竹」に関するイベントを開催。参加者の皆さんに自分たちの活動や竹林の現状などを知ってもらっています。

合わせて、竹害を解決する根本的な方法を模索。全国の事例や現場での活動からその答えを探す年にしたいと思っています。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家・空き地バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

～冬から春に向かう香春町

その様子を写真に収める～
冬の厳しい寒さから少しずつ春の陽気に向かっている香春町の様子を先月は取材しました。

2月の中旬から3月の上旬がシーズンという椎茸の菌打ちについて話を聞き、魅力的な里山の暮らしについて発信したり、今が旬の菜花採集の様子を撮影したりと春に一步步近づいている町の様子・暮らしの様子を

取材してまわりました。

また、今月にオープン予定のオルレコースも実際に歩き、魅力的な場所などを取材しました。



▲クヌギの木に椎茸の菌を打ち込んでいくイベント参加者。



ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 本町区

大学生が引き立てる里山の暮らし



使用されない期間が長い施設を有効活用して、新商品と”楽しい”を創り出す。



竹害の現状を多くの人に知ってもらい、竹林を活用したイベントで”楽しい”を創り出す。



耕作放棄地を利用してたくさんの人に農業を経験してもらい、農業の”楽しい”を創り出す。

「地域課題お助けプロジェクト」とは？

堀くんが香春町滞在中に知り合った、地域の課題解決に取り組む3人にスポットを当て、情報発信やクラウドファンディングを通じた寄付を募ることで支援する。



「地域課題お助けプロジェクト」の詳細は左のQRコードまたは下のURLから検索を
<http://mujimudai.com/2018/02/25/otasukeproject/>

訂正 2月号の「かわら農業塾×キムチの素作り」の記事で農業塾についての問い合わせ先電話番号が「32-8046」とあるのは「32-8406」の誤りでした。お詫びして訂正します。

昨年、香春町で1ヶ月の移住体験を行い、現在も滞在している大学生、堀くん(右)が企画する地域課題解決プロジェクト。



移住体験で訪れた香春町と見学
 に訪れた佐賀県で、地域の課題・
 課題の多くを目にしました。
 しかし、その問題が知られてい
 ない。しっかりと現状が伝わって
 いない。僕の目にはそのように見
 えませんでした。そんな現実を目の当た
 りにし、自分にできることはない
 かと考えました。
 僕が見てきた3つの問題(休眠
 施設、竹害、耕作放棄地)につい
 て、それぞれの問題の実情を多く
 の人に知ってもらうために、少額
 のクラウドファンディングを実施
 します。地域の課題に向き合いな
 がら、わくわくするものを作ろう
 としている人々の姿を多くの人に
 知ってもらいたいです。
 地域課題に向き合っている人の
 姿を見て、みなさんにできること
 を考えていただく機会になったら
 幸いです。
 (文章:堀基晴)

